

## 目 次

序 .....	辻 村 泰 男 .....	1
研究スタッフ .....		3
「オプタコン」とは .....		4
グラビア .....		5
本研究におけるオプタコン学習者のプロフィール .....		9
目次 .....		10
 I. 盲人用補助具における第四の革命＝オプタコン .....		13
1. 視覚障害を補う配慮 .....		13
1) 視覚欠陥にもとづく種々の制約		
2) 盲人用補助具とその活用		
2. 盲人にとっての長い間の夢 .....		22
1) オプタコン以前の盲人用読書器		
2) オプタコン開発の背景		
II. オプタコンの構造 .....		28
1. 原理 .....		28
2. 仕組み .....		32
1) カメラ		
2) エレクトロニクス機構		
3) 触知盤		
3. 訓練装置一式 .....		36
1) ビジュアル・ディスプレイ		
2) トラッキング・エイド		
3) オートマチック・ページ・スキャナ (A P S)		
4) ポータブル・ライン・スキャナ (P L S)		
III. オプタコン研究のあゆみ .....		43
1. 目の前で——1973年 .....		43
2. オプタコンの導入——1974年 .....		43
3. 特別研究の開始——1975年 .....		44
4. 密接なヨコの連携——1976年 .....		45
5. 学会等における活発な討議——1977年 .....		48
付・アメリカにおけるオプタコン・ユーザーの実態		

IV. オプタコンと私	59
——あるオプタコン・ユーザーの場合——	
1. オプタコンとの出会い	59
2. 学業生活におけるオプタコン	60
1) 大学の図書館が身近なものに	
2) コンピュータとの関連	
3) 提出物の作成確認	
3. 日常生活におけるオプタコン	67
4. 職業生活におけるオプタコン	68
V. オプタコン・トレーニング・マニュアル	70
1. T S I のマニュアル	70
2. カナ文字用のマニュアル	71
付・新訂オプタコン・トレーニング・マニュアル(カナ文字用)の一部	
VI. オプタコン訓練とその効果	97
1. カタカナの触読訓練とその効果	97
1) 訓練による読みの速度の進歩	
2) カメラの走査速度と読み誤り	
2. カナタイプライターとオプタコンとの併用	103
3. カメラで行を走査する際のカメラの傾きの許容度	105
4. T R A によるカメラの動きの分析	106
5. オプタコンによる算数のペーパー・テストの読み取り	110
VII. オプタコンによるひらがな・漢字の読みのメカニズム	116
1. ひらがな・漢字の触読の基本原理	116
1) 文字パターンの決定的特徴と触圧の波及効果	
2) ひらがなの文字パターンの「複雑さ」の評点化	
3) ひらがなの学習ステップの組み方	
4) 漢字の学習ステップの組み方	
2. 文字パターンの決定的特徴の学習と「レーズライター」の活用	128
1) レーズライターを活用してのオプタコン訓練	
2) 盲児に普通文字を教えることの意義	
3. オプタコン・トレーニング・マニュアル(ひらがな・漢字用)	131
1) ひらがな用のマニュアルについて	
2) 漢字用のマニュアルについて ——基礎篇と応用篇——	
付・オプタコン・トレーニング・マニュアル(ひらがな・漢字用) の一部	
あとがき	小柳恭治 142